



発行 宮崎学園短期大学
編集 広報委員会
〒889-1605 宮崎市清武町
加納 丙 1415 番地
電話 (0985) 85-0146

保育科

現代ビジネス科
ビジネスコース

現代ビジネス科
医療事務・医療秘書コース

専攻科
福祉専攻

特集
いよいよ入試本番!!

切り上げる力を身に付けよう



学長 宗和 太郎

若さの特権はそのエネルギーにある。そのエネルギーがひとたび「はまる」モノを見つけると大きな飛躍を生み出す。人によって「はまる」モノは様々である。スポーツ、読書、仕事、恋人。天才とははまり方が尋常でなく、しかも大きな成果を出せた人であろう。

若さの危険も「はまりやすさ」である。耽溺しやすい。妄想、思い込み、ネット、ゲーム、ジャンル、アルコール・たばこ・ドラッグ、性反社会的行動等々。継続は力であるが、途中で様々な好奇心がエネルギーの浪費に誘う。耽溺に陥りそうになったとき、それに気づき、切り上げる力が必要である。若いときは是非身に付けたい。

入試対策で得たもの



保育科1年 黒田 涼太 (佐土原高校出身)

私が入試対策で行ったのは、主に面接練習と小論文の練習です。私は面接も小論文も苦手だったので、一つひとつ丁寧に取組んできました。

面接練習は、担任の先生と週一回程度のペースで行いました。入試直前では、放課後や休み時間などを使って友人と繰り返し練習しました。悪い点をお互いで指摘しあい、協力して取組んだ結果、驚くほど自信と力がついたことを実感しました。

小論文の練習は、毎日行うようにしました。文章を書くことが苦手であったため、小論文の対策テキストはもろろんのこと、新聞や本を多く読むように心掛けました。お陰で読書意欲が湧き、小論文対策がきっかけで読書習慣が身についたと思います。併せて、文章を書くことが苦にならなくなりました。これらの両方を高校三年生になってすぐに

始めたことにより、入試ではあまり緊張することなく、十二分に力が発揮できました。受験生の皆さん、自分の可能性を信じて「夢」や「目標」に向かって、精一杯頑張ってください。

本学への受験を考えている方へ



保育科1年 甲斐 美有 (妻高校出身)

私は小論文も面接も苦手な中、受験対策に苦勞しました。始めは小論文の構成も理解しておらず、何を書けばよいのかも分かっていませんでした。上手く書けない悔しさに途中で投げ出したくなる時もありましたが、毎日先生に添削していただき、何度も何度も書き直しました。すると自然と自分の意見をまとめられるようになりました。

面接については、特定の先生だけではなく、他の学年の先生や校長先生にも見ていただきました。また、質問内容を事前に考え、自分の思ったことを分かりやすく伝えられるように、ノート作りに励みました。さらに、友達や家族にも面接の練習をお願いし、たくさん練習した甲斐もあり、試験当日には自分の意思を堂々と話すことができ、面接官の先生から笑顔が良くねと褒めていただきました。受験生のみならず、途中で立ち止まったとしても諦めず、目標を高く持って頑張ってください。そして一緒に大学生活を楽しみましょう。

推薦入試受験に備えて行ったこと



現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース1年 湯田 梨名 (都城聖ドミニコ学園出身)

私が推薦入試受験のために準備したことは面接練習と小論文の対策です。小論文の練習は、過去の小論文のテーマを調べそれについて書いたり、予想されるテーマに沿って小論文を書くなどしました。高校の先生に何度も添削していただき練習をしました。小

論文の練習をするということは、書く練習と人に読んでもらうという作業を重ねることがポイントだと思います。また、面接練習も過去の質問内容を調べたり、予想される質問などを考え、ノートにまとめることから始めました。複数の先生方に面接練習を行ってもらいましたが、最初は練習なのに、緊張で受け答えが上手くできず戸惑うことが多かったです。しかし、回数を重ねることで自信が付き、受験当日は自分の意志をしっかり伝えることができました。推薦入試の受験対策として、面接練習と小論文の事前準備、そして短大のことについてパンフレットなどをみて詳しく調べることが大切だと思います。

推薦入試を受験されるみなさんへ



現代ビジネス科 ビジネスコース1年 内村 明日夏 (高城高校出身)

私は宮崎学園短期大学の推薦入試を受験するにあたって小論文と面接を頑張りました。私は人見知りなので、人と話すことに慣れるためにたくさん努力をしました。まず面接は過去に聞かれたものを調べてノートに書きだして、面接のノートを作りました。面接で答える内容を先生方に添削してもらったり、試験の一週間前には、放課後遅くまで残り、土日も学校で面接の練習をしました。担任やソフトテニス部の顧問にはたくさん指導してもらいました。そのため、自信を持って受験することができ、面接官にも「自信ありますね」と言われ、しっかりと受け答えすることができました。

次に小論文ですが、どの題材も難しく、まとめることが大変でした。また、自分の体験談を入れるのにとっても苦労しました。何回も練習することでやり方がわかるようになり、積み重ねが大事だなと思いました。

私から受験生の皆さんにアドバイスをするなら、自分がこの宮崎学園短期大学に入りたいことなどを思い浮かべながら、取り組むといいと思います。頑張ってください。

本学独自の奨学金制度

入学時 入学時の経済負担を軽減!

- ① 経済的支援奨学金免除 (20万円、20名程度)
② 高校時成績優秀者奨学金免除 (20万円、5名程度)
③ 兄弟姉妹等奨学生 入学半額免除 (10万円)
④ 宮崎学園高等学校出身者 入学半額免除 (10万円)
※上記の奨学金制度(1~4)は重複採用はありません。

入学後 頑張る学生を応援します!

- 卓越した学生に対する授業料免除(2年次)
全額免除(54万円、1名) 一部免除(10万円、3名)

【平成31年度入試日程】

Table with 4 columns: 入試区分, 推薦入試/指定校推薦入試/社会人入試(一期), 一般入試(一期)/大学入試センター試験利用入試(一期)/社会人入試(二期)/外国人留学生入試・帰国子女入試, 一般入試(二期)/大学入試センター試験利用入試(二期)/社会人入試(三期). Rows include 出願期間, 試験日, 合格発表, 入学手続締切.

※大学センター試験利用入試では本学独自の試験は課しません。 ※専攻科入試四期・五期は定員に欠員がある場合のみ実施します。

就職に向けて



松元 果歩
保育科2年
(日南学園高校出身)

私は、母園であるあがた幼稚園で三週間の教育実習をおこない、多くのことを学びました。実習を終えてこの園に就職したいと思いましたが、早く求人の方に来ている園への就職も考え、大きな迷いがありました。そんな時、あがた幼稚園の求人・試験の詳細が貼り出され、すぐに受験を決めました。

学級主任に履歴書添削や就職指導の先生に面接のご指導をしていただき試験に臨んだのですが、当日はとても緊張しました。

試験内容は、まず筆記がありました。質問形式で問題は少し難しく感じましたが、思っていることを素直に書くことができました。次の面接は一時間半近くあり、想定外のことを多く聞かれましたが落ち着いて答えるように心がけました。

結果はまだ先になりますが、四月からは先生として子どもの前に立つ予定です。この二年間、宮崎学園短期大学で学んだことを思い出し、活かしながら子どもからも保護者からも信頼される先生になります。

就職活動報告



現代ビジネス科
ビジネスコース2年
中村 友香
(宮崎東高校出身)

私は一年生の十二月から就職活動を始めました。就きたい職種などが全く決まっていなかったため、合同説明会などが行われる際は積極的に参加をしました。企業の方から直接話を聞くことで、これまで知らなかった企業や職種をたくさん知ることができたと同時に、企業研究や自己分析を通して自分に合った企業を見つけることができました。

行きたい企業が決まった後は試験の対策に取り組みました。一般常識の勉強はもちろん、面接やグループディスカッションの練習を徹底しました。特に面接練習は何度も先生方からご指導をいただいたことで、自分の強みや弱点を見つけられる機会となり、自分自信の大きな成長に繋がったと感じています。

就職活動には大きな不安や焦りがありました。就職課や学科の先生方に支えていただき、早いうちから対策を行ったことで自信を持って試験に臨むことができました。全力で取り組み、結果を出すことができ本当に良かったです。

入学前教育スクーリング及び初心者向けピアノ講座の案内

本学では毎年入学予定者を対象とした「入学前教育スクーリング」を実施しています。スクーリングでは、先輩や入学予定者同士の交流、2年間の流れや授業内容についての説明など、少しでも入学や学生生活に向けての不安が解消できるように様々なプログラムを用意しています。また、保育科入学予定者のうちピアノ初心者を対象とした、「初心者向けピアノ講座」を実施しています。

「入学前教育スクーリング」

日時：平成30年12月22日(土)
9:00～12:20
場所：本学国際交流センター
内容：①全体プログラム
②学科プログラム



現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース1年
坂元 結香(曾於高校出身)

入学前スクーリングに参加して

県外からの受験で誰も知り合いがいなくて、スクーリング当日はとても不安でした。

まず初めに全体会があり、2つの学科が一緒になったグループ活動が行われました。最初はみんな緊張していたけれど、先輩方が中心となって話題を出してくれたり、ゲームをしたりして、自然と笑顔で話せるようになっていきました。その後は、学科ごとに分かれて具体的な授業内容や短大生活などについて話を聞きました。その時に一番印象に残っているのが先生と学生がとても仲が良かったことです。学生が先生方の紹介を冗談交りに行っていて、先生方も笑いながら聞いていました。私はその場面を見て、「この学校なら楽しい学校生活が送れそうだな」と思いほっとしました。

入学前スクーリングに参加したことで、先輩や先生方の話を聞くことができ、また、友達もできました。入学に対する不安もなくなり、入学前スクーリングに参加して本当に良かったと思いました。

「初心者向けピアノ講座」

日時：【第1回】平成30年12月22日(土)
13:30～15:30(13:00受付開始)
【第2回】平成31年3月10日(日)
10:00～12:00(9:30受付開始)
場所：本館3階器楽練習室レッスン室
内容：①グループ指導(ピアノ基礎技術演習)
②個別指導(個人レッスン)



保育科1年
堀首 咲弥(都城商業高校出身)

ピアノ講座に参加して

私は入学するまで一度もピアノを習ったことが無く、大学生活が楽しみな反面、ピアノを弾くことへの不安を抱いていました。両手で弾くことはもちろん、片手でも本当に簡単な曲しか弾くことが出来ませんでした。

こんな私の不安な気持ちを和らげてくれたのが、入学前に受講した「初心者向けピアノ講座」でした。当日はグループに分かれ、担当の先生から個別に指導していただきました。そこで初めて両手でピアノを弾くことができ、ピアノに対する不安が無くなりました。入学した今、ピアノを弾くことが楽しいと感じるのは、間違いなくピアノ講座に参加したからだだと思います。

みなさんも是非参加されてみてはいかがでしょうか。



専攻科に入学後4ヶ月が経過して

入学当初は、新しい環境に不安と緊張で心配の日々でした。でも今は、クラスメイトと共に楽しく充実した日々を送っています。そして、就職ではなく専攻科へ進学したことを、正しい選択だったと感じているところです。



専攻科
中島 瑞貴
(宮崎学園高校出身)

介護の学びのひとつとして、専門的な「こころからだ」や「医療的ケア」の分野があります。これらは、健康状態の異常に対応するための大切な知識であり、日常生活においても、気づきが増えたり観察力が身につけてきているように思

ます。また、学内演習では友達と共に教えあいながら、良い雰囲気の中で学びあっています。さらに実習では、直接の体験により適切な介護方法を学んだり、利用者と深く関わるができるなど、現場でしか味わうことのできない体験や喜びを味わっています。

今後は、大きな目標である国家試験に向けて、しっかりと勉学に励んでいきたいと思っています。あわせて、介護技術を身につけ、家族や身近な人に介護が必要になった場合にも役立つよう、将来のためにも日々精進していきたいです。